

## アソカ講話087

### テーマ「置かれた場所で咲く」

先日に引き続き渡辺先生の講話を紹介したい。

「30歳で修道院に入り、5年間アメリカの修道院で過ごし、日本に帰り、36歳の若さで大学の学長を命ぜられた。なんで私が・・・という思いがなかったわけではないが、その時教えられた言葉が、置かれた場所で咲く。置かれた場所で咲くとは、その場所に居ることに不平や文句を言うのではなく、感謝して生きることを言うのです」と話をされた。

与えられた環境にこそ、意味がある。そこで生きること、そこで花を咲かせることに、その人の生きる意味が隠されている。その人に必要な学びがあり、その人がその人になるための成長の糧がある。柿も霜にあたり甘さを増し、麦も踏まれて生命力を増す。与えられた環境にこそ、あなたがあなたとして生きる、人間としての深さを増すために必要なすべてのものが用意されているのだ。そのことに気づき、感謝して生きると、そこに花が咲く。

あなたが今いる環境もあなたが選んだものではないかもしれないが、そこに居る限り、そこで花を咲かせる覚悟を持つことが、一番あなたを幸せにする方法である。そう教えられた。